

10、11月「倉敷フォトミユラル」

商店街 写真で彩ろう

実行委 出品作受け付け

毎年秋にJR倉敷駅前商店街のアーケードを大型写真で彩る屋外写真公募展「倉敷フォトミユラル」。倉敷市文化振興財団などでつくる実行委員会は、22日まで出品作を受け付ける。

今年秋にJR倉敷駅前商店街のアーケードを大型写真で彩る屋外写真公募展「倉敷フォトミユラル」が担っている。運営は県立大（総務部）の学生らでつくるマ。写真評論家の飯沢

耕太郎氏が9月に審査して57点を選ぶ。作品は10月25日～11月13日、JR倉敷駅南の商店街一帯で、2種類の大判の布（縦2.9m、横1.9mと縦2.9m、横3.7m）にプリントしてアーケードにつり下げて展示する。作品はテーマに即した単写真（プリントサイズは六つ切りからA505）。（岩谷圭）

4）で、白黒・カラー、使用機材、応募点数は問わない。誰でも応募でき、参加無料。応募は、倉敷フォトミユラルのホームページから応募票を印刷し、〒710-0052、倉敷市美和1の13の33、市文化振興財団「倉敷フォトミユラル」係へ。問い合わせは同財団（086-434-0505）。（岩谷圭）

フォトミユラルはフォト（写真）とミユラル（壁画・天井画）を組み合わせた造語。商店街の活性化や写真文

の昨年、倉敷フォトミユラルの様子



(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。